

【2005年6月15日】小学生の頃、前歯を2本とも折ってしまい、差し歯になりました。何度か取れては付けてを繰り返していました。もう歯の根が薄くなっていつ折れてもおかしくないと言われたのですが、根を補強する方法はないのでしょうか？

こんにちは。

はじめてメールさせていただきます。

小学生の頃、前歯を2本とも折ってしまい、差し歯になりました。

何度か取れては付けてを繰り返していましたが、あまりにも頻繁にとれるようになったので不安になり、今から1年ほど前に別の歯科にかかるようになりました。

Q その歯科で見てもらったところ、もう歯の根が薄くなっていつ折れてもおかしくないと言われたのですが、相談の上、隣りの2本(片方は差し歯にしました。もう片方はしっかりした歯だったので、削って被せ物をしております。)も加え、計4本をくっつけた状態で差し歯を作りなおしてもらいました。

これでとれた場合はもう抜歯して連結を増やしブリッジにするといわれています。

これでもし根が折れてしまった時のことを考えると不安で仕方ありません。

そこで質問があります。

①根を補強する方法はないのでしょうか？

②ブリッジする場合は前2本がない状態でも大丈夫なのでしょうか？見た目はどうなんでしょうか？

長々と失礼いたしました。

真剣に悩んでおります。

宜しくお願い致します。

A 西新宿歯科クリニック 院長の武末秀剛です。

担当の先生が診察されて根が薄くなっているとおっしゃったのであれば実情はかなり厳しいのではないのでしょうか。

やはり何らかの負荷がかかった際に折れてしまう危険性は高いといわざるを得ません。

残念ながらそのような歯を補強する方法は今のところございません。

またブリッジの設計はきちんとした計算式があり、原則連続2歯の欠損までは土台にする歯を増やしたりすることで可能になります。

ですから、無理な力のかかるような設計上ではブリッジはすすめられることはありません。

見た目に関しては実は一言では大丈夫ですよとは言いきれませんが。

やはりご自身の歯の上で作ると同様の審美性の要求にこたえることはすべてのケースにすべてのドクターが対応できるわけではありません。

万が一抜歯になるような場合には事前に担当の先生にどのような状態になるのかをあらかじめ相談されたほうがよろしいでしょう。

【2004年2月17日】母(55歳)の、放置し続けた昔の虫歯が悪化して、現在、柔らかい物しか噛めない状態になってしまっています。いい入れ歯を入れてもらえる歯医者さんの探し方がわかりません。

Q 歯医者に行くように再三言っているのですが、お金がかかるからと言って、頑として行こうとしません。症状も伝えてくれないので、どこまで悪化しているかわかりませんが、前歯、奥歯とも悪くなっているようです。かわいそうなので、私が費用を出して、入れ歯なり、差し歯なり入れてあげようと思うのですが、費用はどのくらいかかるのでしょうか。保険を使えばそんなにかからないから、いい歯医者さんを探しなさいと知人に言われたのですが、保険を使え、かつ、いい入れ歯を入れてもらえる歯医者さんの探し方がわかりません。探し方も教えていただければありがたいです。よろしく願います。

西新宿歯科クリニック 院長の武末です。

お母さん思いの本当に優しい娘さんですね。なんとか力になれないものかない頭を必死に試行錯誤考えています。が、結論からいうと良い歯医者さんの探し方のマニュアル的なものは無いのではないかと私は思います。

確かに、本屋にいけば「いい病院何百選・・・」の類の書籍も数多く出てますし、マスコミに頻繁にとりあげられている医院もよく見受けられます。しかし、実際に「良い病院」なんて患者様によって全く違います。ですからお母様にとって最も良い歯科というものを私が言及する事も出来なければ況してや、その探し方などお教えできるはずもありません。しかし、このような回答ではなんのお力にもなっていませんよね。

A そこで、一晩考えたのですがじつは、当院にもご相談いただいたケースに非常に似ている患者様が 現在通院されています。勝手ながらその方を例にとってお話しさせていただきます。その方はお母様と年齢的にほぼ同じくらいで、娘さんもあなたと同じくらいです。ただ娘さんはお二人いらっしゃってどちらも昔からの当院の患者様でした。ある日、出産以来歯医者に行くことなくお口の中もぼろぼろになっているお母様に見かねて娘さんたちが当院へお母様を連れていらっしゃいました。

三十年歯医者に行かねばならない状態を放置されてたそのお母様のお口の中の状態は、恐らくあなたのお母様以上に深刻な状況だったかもしれません。私は、昔からの患者様である娘さんたちの手前もありましたがそれはさておき、なんとかしてこのお母様のリハビリをしなければ、とかんがえました。つまり、噛めるようにしたり、見た目を取り繕うだけにとらわれずにそのお母様の本心、すなわち、相当痛かったり噛めずに困ったり、前歯がなくなり体裁が悪くなったにもかかわらずなぜそれだけの長期間放置されていたのか、むしろ放置せざるを得なかったのかを知る事から始めました。

結局は金銭的なことや多忙を言い訳にしながら、とにかく歯医者さんが恐かったからだと言う事でした。これは私の推測の域を越えませんが、恐らく彼女は若い時(幼少時かもしれない)

せんが)に歯医者で相当な嫌な経験があり、それがトラウマとなっていたのではないのでしょうか…

私なりに一生懸命、誤解を解くようにお話もしましたし、必死にリラックスさせるよう慣れないジョークを会話に用いたりと出来る限りのコミュニケーションを試みました。

すると、始めの何回かの来院時にはこわばっていたお顔にも次第に笑顔すら伺えるようになり、現在も長期の治療計画の元、治療の続行中です。

きっと、今でもあの笑顔の中にはかなりの覚悟をもって毎回来院されてると言うことは私をはじめスタッフ一同ひしひしと感じております。この患者様のケースはあくまで一例に過ぎませんが、このようにうまく治療に移行できた最も大きな要因は、娘さんたちの当院に対する揺ぎ無い信頼感あってこそだと考えます。

その娘さんたちが以前から通っていた我が歯科医院を日ごろからそのお母様に勧めておられ、その熱意や愛情の蓄積に私自身も共感させられ、それに患者様であるお母様も粹に感じて頂き、30年以上足の遠のいてやまなかつた歯科医院にも一度も予約をキャンセルされる事も無く、数十回もの通院をされています。

まず、娘さん自身が信頼できると思える歯科医院をお探しになりそしてそのドクターにその旨相談されてはいかがでしょう？

これは決して良い回答になってるとは自分自身思えませんが、私が実体験を通して感じている回答がこのようになってしまいました。

今後もお気軽にご相談いただけたら幸いです。